

4. 多様な主体による連携

4.1 産学公金連携

4.1.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関などと交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m²のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業のほか、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ活かすための学協会連携事業などを開催し、産学公金連携事業を推進した。2019年度の取り組みは以下のとおりである。

(1) 都産技研主催

開催日	催事名
6月7日	技術セミナー「電子機器実装の品質管理－国際標準 IPC 規格－」
6月14日	中小企業の IoT 化支援事業セミナー「DIY による実践 IoT セミナー」
7月4～5日	TIRI クロスミーティング 2019
7月11日	神奈川県・東京都連携 MTEP セミナー 「RoHS/REACH に対応する自律的マネジメントシステムの構築【導入編】」
8月23日	INNOVESTA!2019 ファミリーデー
9月10日	(株)東京きらぼしフィナンシャルグループ見学会
9月24日	(一社)東京都中小企業診断士協会見学会
12月12日	技術セミナー「プラスチックの話」
1月15日	東京イノベーション発信交流会 2020
3月25日	東京都異業種交流グループ合同交流会実行委員会

(2) 都産技研共催

開催日	催事名	他主催者
4月25日	繊維系研究機関ミニ国際シンポジウム 2019	(一社)日本繊維機械学会関東支部
5月10日	IPC0 カンファレンス 2019	(一社)国際工業塗装高度化推進会議
5月29日	2019 年度 第 1 回東京都デザイン導入支援セミナー「『デザイン経営』宣言を読み解く。知財戦略の重要性を学ぶ。」	(公財)東京都中小企業振興公社
6月20日	第 31 回木材塗装基礎講座	木材塗装研究会
9月13日	第 170 回講演会「フィルム成形技術を理解する」	(一社)プラスチック成形加工学会
9月27日	粉末積層 3D 造形技術委員会・粉末製造技術委員会合同委員会「金属 3D プリンターの原料粉末と造形の技術トピックス」	(一社)粉体粉末冶金協会

開催日	催事名	他主催者
10月14～17日	国際標準化機構の水質 (ISO/TC147) 国際会議	(一社)産業環境管理協会
10月18日	マイクロプラスチック問題に関するシンポジウム	機能性フィルム研究会
10月24～25日	2019年度色材研究発表会 「色材関連技術の最新動向」	(一社)色材協会
11月15日	第15回微粒化セミナー	(一社)日本エネルギー学会
11月19日	マイクロプラスチック問題に関するシンポジウム	機能性フィルム研究会
12月2日	東京都立産業技術研究センター・電気学会セミナー「安全で省エネな社会の構築と中小企業支援」	(一社)電気学会
12月3日	表面技術とものづくり研究部会 第27回例会 「鉄鋼材料の熱処理と検査技術」	(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会
12月5～6日	2019技術交流会「研究者、技術者のための制振材料、音響材料の計測評価、振動音響解析」	制振工学研究会
1月22日	第55回日本食品照射研究協議会 教育講演会/低エネルギー電子線を用いた食品処理技術の動向に関するセミナー	日本食品照射研究協議会
1月28～29日	第27回超音波による非破壊評価シンポジウム	(一社)日本非破壊検査協会

(3) その他の東京イノベーションハブの活用(有料利用)

開催日	催事名	主催者
7月16～19日	第29回国際地図学会議 (ICC2019) 国際地図展	第29回国際地図学会議組織委員会、日本学会議
11月28～29日	第16回日本プラグフェスト	(一社)組込みシステム技術協会

4.1.2 マッチングの場の提供

企業が新たな顧客と出会う機会を提供し、製品化や事業化を促進することを目的に、ビジネスマッチング交流会「東京イノベーション発信交流会 2020」を開催した。都産技研の利用企業および都産技研と業務連携協定を締結している大学・研究機関、支援機関、行政機関、金融機関から推薦された企業が出展した。

日時：2020年1月15日（水）10:00～17:00

会場：都産技研 本部

後援：公益財団法人東京都中小企業振興公社

出展企業：51社 来場者：253名

◆プログラム概要◆

【基調講演】 10:00～11:00

【展示会】 11:00～17:00 出展企業 51 社が自社製品・技術を紹介

【技術シーズ発表会】 13:30～16:15 都産技研および東京都立産業技術高等専門学校、公立大学法人首都大学東京産業技術大学院大学、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、明星大学、一般財団法人化学研究評価機構、千葉工業大学が保有技術シーズを紹介したほか、公益財団法人東京都中小企業振興公社による助成事業の紹介を行った。

4.1.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と、既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

(1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を 1984 年度から毎年発足させ、現在課題解決型と製品開発型を合わせ 30 グループ約 400 社の会員が活動している。2019 年度は課題解決型異業種交流グループの会員を新たに募集し、専門の助言者を配置して、7 月から 2 月まで毎月 1 回の交流会を開催した。活動内容は、自社紹介、グループワーク、都産技研施設の見学、講演会などである。また、2016 年度に立ち上げた製品開発型異業種交流グループ（高齢者支援機器の開発）への活動支援も引き続き実施した。

異業種交流グループ名	開催日	開催回数	参加者数（延べ人数）
2019 グループ（課題解決型）	7 月～2 月、各 1 回	8	105
高齢者支援機器開発グループ（製品開発型）	5 月、8 月、11 月、 2 月、各 1 回	4	9

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

既存グループが活動状況や計画を紹介することでグループ間相互の交流を促進するとともに、合同交流会の実施について検討し、第 35 回合同交流会の開催を決定した。

会議名	開催日	参加グループ数（参加者数）
グループ協議会	6月14日	17 (21)

2) 東京都異業種交流グループ合同交流会および合同交流会実行委員会

各グループ会員の交流を深めるために、第 35 回東京都異業種交流グループ合同交流会開催に向け、実行委員会を 7 月に立ち上げた。実行委員会にて開催準備を実施したが、新型コロナウイルス感染症対応のため中止となった。

会 議 名 (開催日)	開催回数	参加者数 (延べ人数)
第 35 回合同交流会 (3 月 4 日)	中止	—
合同交流会実行委員会など	8	137

3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の課題解決型 28 グループに対し、会議室の利用支援、情報提供などグループ活動支援およびグループ会員からの相談対応を実施した。既存異業種交流グループが都産技研において定例会などを開催した実績は、以下のとおりである。

会 議 名	利用回数	参加者数 (延べ人数)
定例会など	90	751

4.1.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催日	企業等参加者数 (都産技研参加者数)	内 容
1	東部金属熱処理工業組合	9月11日	26 (8)	金属熱処理業界の近況報告、都産技研の航空機産業支援事業紹介、中核人材インターンシップ報告、都産技研と意見交換
2	東京温度検出端工業会	9月26日	13 (3)	都産技研施設見学、都産技研のイベント PR、都産技研との意見交換
3	東京都鍍金工業組合	10月15日	4 (11)	都産技研との意見交換
4	日本機械学会環境工学部門第一技術委員会	2月 7日	16 (5)	都産技研の音響・振動分野支援事業紹介、騒音低減化事例および騒音評価法報告、都産技研との意見交換

4.1.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、製品開発など技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立 年月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
1	化学技術研究会	1986年 10月	化学技術の向上、相互の技術交換	23 (7)	2
2	静電植毛加工技術研究会	1987年 4月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会などの開催、技術資料の収集	6 (2)	1
3	超音波応用懇談会	1988年 3月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流など	115 (21)	9
4	PC 情報研究会	1989年 7月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催など	19 (17)	9
5	締結問題研究会	1994年 2月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会などの開催、技術資料の収集	45 (28)	6
6	トライボコーティング 技術研究会	1994年 11月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	89 (7)	3

No.	名 称	設立 年月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
7	東京都健康福祉研究会	1996年 4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と 応用、管理運用についての研究	34 (13)	5
8	信頼性安全技術研究会	1997年 4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会などの 開催、技術情報交換	114 (22)	7
9	表面科学交流会	1998年 4月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面 科学に関する見聞を広める	26 (3)	3
10	ユニバーサルファッション 製品の企画開発研究会	2001年 10月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対 応製品の開発支援・情報交換	47 (10)	8
11	環境技術研究会 (2019年度廃会)	2002年 5月	環境汚染防止技術と資源有効利用技術について 情報交換し、企業の活性化に寄与	9 (8)	1
12	循環型技術研究会	2002年 7月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公 連携による技術開発の場として活動する	164 (8)	8
13	東京温度検出端工業会 技術懇談会	2006年 4月	温度センサ及び貴金属メーカー間の技術交換、 最新情報の共有	13 (3)	1
14	デザインマーケティング 技術研究会	2011年 4月	デザイナーのセルフマーケティングについて研 究。地域地場産業との合同プロジェクト体制や 営業技術の研究	21 (6)	3
15	航空宇宙部品製造 技術研究会	2011年 10月	航空宇宙産業におけるサプライヤーチェーンの 構築、マーケットの獲得	21 (23)	3
16	塗膜性能評価研究会	2011年 12月	情報交換、共同調査・研究等を通じ、既存の技 術にとらわれない新たな評価方法の検討・普及	8 (7)	2
17	ガラス技術交流会	2012年 3月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国 際交流を推進することによる、技術者の活性化 や新技術の理解習得など	98 (21)	4
18	感性工学研究会	2013年 1月	新しい工学技術分野としての感性工学について 理解を深め、企業や研究者による製品の感性評 価や感性工学技術の情報交換、会員相互による 研究の協力体制の確立など	40 (2)	2
19	TIRI 情報セキュリティ 研究会	2015年 4月	サイバー攻撃の実態調査、生活ロボットへの組 込みシステム、中小企業向けセキュリティ簡易 診断法開発、情報セキュリティに関する勉強会 や普及促進活動	142 (35)	11
20	金属加工の潤滑技術研究会	2016年 1月	金属加工に用いられる潤滑剤の効果について議 論・検証し、中小企業が抱える潤滑技術の課題 を、相互の技術と知識により解決する	30 (12)	3
21	フィルム物性研究会	2018年 2月	新たな機能・価値を付与したフィルムプロダク ツを創出し、ものづくりの現場の活性化を目指 す	75 (17)	4

※2019年度活動研究会のみ記載

4.2 行政等支援機関連携

4.2.1 協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。2020年3月31日現在の各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである。

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	2006年4月1日
		覚書	2007年1月4日

2019年度 年報

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
2	(一社) コラボ産学官	協定書	2006年 8月10日
		秘密保持契約書	2006年 9月 1日
3	産業技術大学院大学	協定書	2007年 2月26日
4	首都大学東京	業務協定書	2007年 3月15日
5	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	2008年 4月 1日
6	長岡技術科学大学	協定書	2008年 8月26日
		覚書	2009年 8月 6日
7	新宿区	協定書	2008年 9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	2008年10月14日
9	芝浦工業大学	協定書	2009年 3月12日
		教育研究協力に関する協定	2009年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	2009年 6月 3日
11	港区	協定書	2009年 7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの 活用に関する覚書	2009年 7月16日
13	府中市	覚書	2010年 5月13日
14	(国研)産業技術総合研究所	協定書	2010年11月24日
15	北区	覚書	2011年 2月21日
16	(公財)まちみらい千代田	覚書	2011年 4月14日
17	品川区	協定書	2011年 6月 1日
18	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	2011年 9月12日
19	江東区	協定書	2011年 9月14日
20	朝日信用金庫	協定書	2012年 1月27日
21	(一財)機械振興協会	協定書	2012年 3月 8日
22	(公財)日本発明振興協会	協定書	2012年 4月 9日
23	江東信用組合	協定書	2012年 6月 6日
24	東京電機大学	協定書	2012年 7月23日
25	明星学苑明星大学	協定書	2012年10月12日
26	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	2012年12月 7日
27	日野市	覚書	2013年 2月26日
28	昭島市	協定書	2013年 3月12日
29	城南信用金庫	覚書	2013年 3月13日
30	(一財)化学研究評価機構	協定書	2013年 3月21日
31	さわやか信用金庫	協定書	2013年 4月 1日
32	(一社)東京工業団体連合会	協定書	2013年 9月 5日
33	東京都商工会連合会	協定書	2013年10月22日
34	西武信用金庫	協定書	2013年10月28日
35	東京理科大学	協定書	2013年11月 5日
36	葛飾区	協定書	2013年11月26日
37	東京工業高等専門学校	協定書	2014年 3月26日
38	法政大学	協定書	2014年 4月11日
39	東京東信用金庫	協定書	2014年 6月 3日
40	芝信用金庫	協定書	2014年 6月11日
41	東京商工会議所	協定書	2014年 7月14日
42	青梅市	協定書	2014年 8月26日
43	青梅商工会議所	協定書	2014年 8月26日
44	千葉工業大学	協定書	2014年 9月30日
45	墨田区	協定書	2014年11月13日

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
46	タイ工業省	協定書	2014年11月25日
47	電気通信大学	協定書	2014年12月09日
48	荒川区	協定書	2015年 3月03日
49	泰日経済技術振興協会	協定書	2015年 4月24日
50	(一社)組込みシステム技術協会	協定書	2015年10月19日
51	(公財)台東区産業振興事業団	協定書	2015年11月05日
52	泰日工業大学	協定書	2016年 2月04日
53	亀有信用金庫	協定書	2016年 2月17日
54	信州大学	協定書	2016年 3月10日
		覚書	2016年 5月31日
55	(株)東京きらぼしフィナンシャルグループ	協定書	2016年 5月27日
56	江戸川区	協定書	2017年 3月29日
57	東京海洋大学	協定書	2017年 3月30日
58	東京農工大学	協定書	2017年 9月13日
59	兵庫県立大学	協定書	2018年 5月 1日
60	足立区	協定書	2018年 8月 6日
61	八王子市	協定書	2019年 3月27日
62	(株)商工組合中央金庫	協定書	2019年 9月30日
63	東邦大学	協定書	2019年10月 7日

個別部署での協定締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	2013年10月 1日	城南支所
2	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	2013年10月30日	多摩テクノプラザ
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	2013年12月18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	2014年 1月17日	墨田支所

4.2.2 区市町村などとの連携

地域の中小企業を支援している区市町村などとの連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料助成制度の実施など、企業支援の充実を図った。2019年度の主な取り組みは以下のとおりである。

(1) 区部での連携

1) 城東地域

機関名	連携事業
台東区	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)台東区産業振興事業団の都産技研利用助成の継続「試験研究機関活用支援助成金」 ・都産技研見学会2回を実施(5月城南7名、6月本部3名)
墨田区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「依頼試験等利用補助」 ・都産技研技術セミナーですみだビジネスサポートセンター職員が講演(9月) ・スミファ(すみだファクトリーめぐり)へ参加(11月:墨田支所)
江東区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「都立産業技術研究センター利用料の一部補助」 ・連携会議(4月) ・本部製品化支援ラボ入居企業に江東区産業支援施策をPR(4月) ・墨田支所見学会を実施(8月、1名) ・江東区がINNOVESTA!2019ファミリーデーを後援(8月) ・江東区が臨海地区産学官連携フォーラムを後援(5月、10月) ・「東京イノベーション発信交流会2020」における江東区事業のPR(1月)

機関名	連携事業
荒川区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「試験研究機関活用支援事業」 ・連携技術相談（1件） ・荒川区地域産業活性化研究補助事業に都産技研が応募し、採択、研究開発を実施 ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦（10月） ・荒川区ビジネスプランコンテストを後援（11月） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」における荒川区事業のPR（1月）
足立区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「技術支援補助金」
葛飾区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「製品性能試験費用補助事業」 ・連携会議（4月） ・葛飾区工業振興会議に参加（3回） ・葛飾区産学公連携推進会議に参加（3回） ・区内官公署（所）長連絡協議会に参加（2回） ・かつしか異業種交流会への参加（2回） ・「第35回葛飾区産業フェア」（10月：テクノプラザかつしか）を後援・出展し、実行委員会へ参加（8回） ・「第6回町工場見本市 2020」に出展（2月：東京国際フォーラム）
江戸川区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「産技研依頼試験等利用助成金」 ・連携技術相談（15件） ・「第21回産業ときめきフェア in EDOGAWA」を後援、出展。ポスターをデザイン（11月：タワーホール船堀） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦（10月） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」における江戸川区事業のPR（1月）

2) 城南地域

機関名	連携事業
品川区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「東京都立産業技術研究センター利用料等助成」 ・連携技術相談（16件） ・連携会議および都産技研見学会を実施（5月、10名） ・品川区、目黒区、板橋区、江戸川区、北区、さいたま市合同開催「ものづくり商談会」を後援・出展し、事業紹介および技術相談対応（9月：品川産業支援交流施設「SHIP」） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦（10月） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」における品川区事業のPR（1月）
大田区	<ul style="list-style-type: none"> ・「第12回大田区加工技術展示商談会」へ出展し、事業紹介（7月：大田区産業プラザ Pi0） ・連携会議（10月） ・大田区産業振興協会コーディネーター同行実地技術支援（5回） ・「第9回おおた研究・開発フェア」を後援し、出展（10月：大田区産業プラザ Pi0） ・「第24回おおた工業フェア」へ出展し、事業紹介および技術相談対応（2月：大田区産業プラザ Pi0） ・城南支所見学会を実施（1月、3名）
目黒区	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「産業技術に関するリンク集」に都産技研を掲載

3) 城北地域

機関名	連携事業
北区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「依頼試験等補助事業」、「産学連携研究開発支援事業」 ・板橋区・北区・都産技研共催セミナー「改正 RoHS 指令セミナー フタル酸エステル類規制への対応」を開催（8月：板橋区役所、50名参加）

機関名	連携事業
板橋区	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)板橋区産業振興公社による都産技研利用助成の継続「公的試験研究機関等利用助成金」、「産学公連携研究開発支援事業助成金」 ・連携技術相談(27件) ・連携会議および都産技研見学会を実施(5月、6名) ・板橋区・北区・都産技研共催セミナー「改正 RoHS 指令セミナー フタル酸エステル類規制への対応」を開催(8月:板橋区役所、50名参加) ・「第23回いたばし産業見本市」を後援し、実行委員を派遣(3回)、出展(10月、板橋区立東板橋体育館) ・「板橋製品技術大賞2019」の協賛(10月)
文京区	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト支援機関としてリンク
豊島区	<ul style="list-style-type: none"> ・「第13回としま MONO づくりメッセ」のTIRI NEWSでのPR(9月)

4) 城西地域

機関名	連携事業
世田谷区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「東京都立産業技術研究センター利用補助金」 ・連携会議(8月)
練馬区	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬産業見本市「ねりま EXP02019」へ出展し、事業紹介および技術相談に対応(10月:としまえん屋内館)

5) 都心・副都心地域

機関名	連携事業
千代田区	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)まちみらい千代田による都産技研利用助成の継続「マネジメント・サポートデスク」 ・第12回千代田ビジネス大賞の後援(2月)
港区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「新技術活用支援事業補助金」 ・都産技研・港区共催セミナー 欧州向け製品輸出入門・中小企業人材育成塾グローバル研修「CE マーケティング入門+改正 RoHS 指令入門」セミナーを開催(2月:港区立商工会館、28名参加)
新宿区	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦(10月)

(2) 多摩地域での連携

機関名	連携事業
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「小規模企業産学連携促進補助金」、「産学連携による研究・開発費等補助金」 ・公募型共同研究事業 IoTを活用した研究に八王子市が協力 ・連携会議(3回) ・八王子市新産業センター運営懇談会参加(2回) ・産業支援機関等担当者連絡会議に参加し、事業紹介(6月) ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦(10月) ・「都産技研との業務連携協定締結」「新産業開発・交流センターオープン」記念セミナーを共催(11月:八王子市新産業開発・交流センター、59名参加) ・「東京イノベーション発信交流会2020」における八王子市事業のPR(1月) ・第3回先端技術セミナーで都産技研職員が講演(1月) ・(公財)東京都中小企業振興公社主催知財マッチング会に八王子市が協力し、都産技研シーズを紹介(1月:八王子市学園都市センター)
青梅市	<ul style="list-style-type: none"> ・おうめものづくり支援事業専門家会議に参加(3回) ・「第52回青梅産業観光まつり」へ出展(11月:青梅市永山公園)

機関名	連携事業
府中市	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（4件） ・連携会議（7月） ・本部見学会を実施（10月、6名） ・第30回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」を後援し、出展（10月：市民活動センター「プラッツ」） ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦（10月） ・「東京イノベーション発信交流会2020」における府中市事業のPR（1月）
昭島市	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「昭島市ものづくり産業技術支援事業補助金」 ・「第51回昭島市産業まつり」へ出展（11月：KOTORIホール） ・昭島市立昭和中学校多摩テクノプラザ見学会を実施（11月、8名参加）
日野市	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「日野市ものづくり産業開発支援事業」
羽村市	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「羽村市地域イノベーション創出事業助成制度」
立川市	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関としてウェブサイトにて都産技研をリンク ・「第19回たま工業交流展」を共同主催し、多摩テクノプラザが出展し、多摩テクノプラザビジネスデーも同時開催（2月：東京都立多摩職業能力開発センター）
町田市	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「中小企業向け経営支援リンク集」にて都産技研掲載

4.2.3 金融機関との連携

機関名	連携事業
多摩信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・WinPlaza 多摩センターウェブサイト「提携機関」にて都産技研掲載 ・たましん法人総合サービス Let's BoB ウェブサイトビジネスリンク集にて都産技研掲載 ・「第17回多摩ブルー・グリーン賞」を後援し、選考委員会へ委員派遣（3回）、表彰式に参加（12月）
さわやか信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（11件） ・ビジネスサポートウェブサイトでのお役立ちリンクに掲載 ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦（10月） ・「第15回ビジネスフェア」を後援し、当日相談対応を実施（11月：大田区産業プラザPiO） ・第10回さわやか信用金庫物産展の後援（11月） ・「東京イノベーション発信交流会2020」におけるさわやか信用金庫事業のPR（1月）
朝日信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（2回） ・連携技術相談（1件） ・本部見学会を実施（7月、13名） ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦（10月）
城南信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問（6件） ・城南信用金庫「城南信金ガイド」の「産学官の連携」での都産技研紹介 ・「城南同業種交流会」に参加し、技術シーズ紹介および個別相談対応（7月、2月） ・「2019“よい仕事おこし”フェア」へ出展し、個別相談対応（10月：東京国際フォーラム） ・本部見学会を実施（2月、62名）
西武信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（2回） ・多摩テクノプラザ見学会を実施（7月、13名） ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦（10月） ・「第20回ビジネスフェア」へ出展（11月：東京ドームシティプリズムホール）
東京東信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（1件） ・「1都3県1市における次世代自動車産業分野の連携支援計画/経産省」の継続 ・墨田支所見学会を実施（4月、2名） ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦（10月） ・「ひがしんビジネスフェア2019」を後援し、出展（11月：両国国技館） ・「METALEX2019」にて都産技研ブース内に推薦企業が出展（11月：バンコク BITEC） ・「東京イノベーション発信交流会2020」における東京東信用金庫事業のPR（1月）

機関名	連携事業
芝信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（1件） ・本部見学会を実施（5月、42名）
亀有信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト「公的機関による各種経営サービスの情報提供」に掲載 ・「第2回葛飾ものづくりフェア in アリオ亀有」を後援、パンフレットデザインおよび展示会デザインを担当（2月）
(株)東京きらぼし フィナンシャルグ ループ	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（17件） ・連携会議（7回） ・行員向け本部見学会を実施（3回、延べ43名） ・「1都3県1市における次世代自動車産業分野の連携支援計画/経産省」の継続 ・東京きらぼしフィナンシャルグループ・公社・川崎市主催「ICT知的財産マッチング会」で都産技研技術シーズ4件を紹介、個別相談対応（7月:きらぼし銀行本社） ・「東京イノベーション発信交流会2020」への出展企業推薦（10月） ・「METALEX2019」にて都産技研ブース内に推薦企業が出展（11月:バンコク BITEC） ・東京きらぼしフィナンシャルグループ主催「首都大技術懇談会」を後援（12月） ・「東京イノベーション発信交流会2020」における東京きらぼしフィナンシャルグループ事業のPR（1月）
(株)商工組合中央 金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（8回） ・本部見学会を実施（4月、36名） ・商工中金主催「タイ・ローカル企業とのビジネスマッチング商談会 in バンコク」での都産技研事業紹介（8月） ・連携協定締結（9月） ・商工中金主催「ワンストップ海外投資セミナー」を後援し、PRに協力（10月）
青梅信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・「第19回 あおしんビジネス支援マッチング大会」へ出展（10月:フォレスト・イン昭和館）
シグマバンク グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・「第11回ビジネス交流会」へ出展し、個別相談対応（8月:東武ホテルレバント東京）
(株)日本政策金融 公庫 大森支店	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政策金融公庫大森支店訪問、事業紹介と連携事業の打ち合わせ（7月）
(株)日本政策金融 公庫 江東支店	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の連携・中小企業支援について意見交換（9月）
巣鴨信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（5月）

4.2.4 大学・研究機関等との連携

大学や研究機関などと各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

機関名	連携事業
首都大学東京	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（3回） ・多摩テクノプラザと首都大学東京研究者との交流会（3回） ・生活技術開発セクターと首都大学東京研究者との交流会（2回） ・インターンシップ生4名、研修学生2名の受け入れ ・都市課題解決のための共同研究の開始 ・首都大学東京施策提案発表会（7月） ・首都大学生涯教育プログラム「TMUプレミアムカレッジ」「都政課題中小企業振興」のフィールドワークへの協力（学長および受講者45名が多摩テクノプラザを見学）（8月） ・首都大学東京システムデザインフォーラムを後援し、研究成果発表1件（10月） ・技術研究会東京都健康福祉研究会における共同研究成果「車いす楽器」の紹介（12月） ・(株)東京きらぼしフィナンシャルグループ主催「首都大技術懇談会」を後援（12月） ・東京都地方独立行政法人コンプライアンス等連絡会と本部見学会（2月）

機関名	連携事業
産業技術大学院 大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「オープンインスティテュート（OPI）企画経営委員会」へ委員派遣（4回） ・本部見学会を実施（2回、延べ7名） ・連携会議（4月） ・TIRI クロスミーティング 2019 で1件研究発表（7月） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」技術シーズ発表会で1件発表（1月） ・2020 AIIT PBL プロジェクト成果発表会の後援（2月）
東京都立産業技 術高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ生1名受入 ・連携会議（3回） ・INNOVESTA!2019 ファミリーデーでの工作教室開催（8月） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」技術シーズ発表会で1件発表（1月）
東京理科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（2件） ・連携会議（2回） ・TIRI クロスミーティング 2019 で1件研究発表（7月） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦（10月）
東京工業高等専 門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性安全性技術研究会・東京工専技術懇談会の共同開催（9月）
電気通信大学	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（1件） ・「超スマート社会」プロジェクト全体会議への参加（2回） ・文部科学省データ関連人材育成プログラム事業の「データアントレプレナーコンソーシアム」の継続
東京電機大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生3名の受け入れ ・連携技術相談（3件） ・都産技研職員が東京電機大学ものづくりセンターを見学（6月） ・TIRI クロスミーティング 2019 で1件研究発表（7月） ・本部見学会を実施（9月、9名）
千葉工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生2名の受け入れ ・連携技術相談（1件） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」技術シーズ発表会で1件発表（1月）
芝浦工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（4回） ・第15回臨海地区産官学フォーラムにおける教員の講演（5月） ・教員が電気学会誌「十見百聞」都産技研とともに取材対応（6月） ・学協会連携事業（第15回微粒化セミナー）における教員の講演（11月） ・T型ロボットベースを貸与し、展示会「2019 国際ロボット展」で複数ロボットの情報連携に関する実験を実施（12月）
信州大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州大学 近未来埋め込み型歩行アシストサイボーグプロジェクト」の継続 ・連携技術相談（2件）
東京農工大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生1名の受け入れ ・連携会議（2回） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦（10月）
東京海洋大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生3名の受け入れ ・連携会議（4月） ・第15回臨海地区産官学フォーラムにおける教員の講演（5月）
東邦大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生2名の受け入れ ・東邦大学医工連携研究会の開催（2回） ・連携会議（6月） ・連携協定締結（10月）
明星大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生1名の受け入れ ・TIRI クロスミーティング 2019 で1件研究発表（7月） ・「東京イノベーション発信交流会 2020」技術シーズ発表会で1件発表（1月）
兵庫県立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・トライボコーティング技術研究会における教員の講演（8月）

機関名	連携事業
東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクスセンターウェブサイト「研究連携機関」でのリンク掲載 ・技術研究会超音波応用懇談会における教員の講演（4月）
筑波大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生1名の受け入れ
東京学芸大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生2名の受け入れ
麻布大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生1名の受け入れ
成蹊大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生1名の受け入れ
北見工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・研修学生1名の受け入れ
東京都健康長寿医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ・本部見学会を実施（2回、延べ16名） ・連携会議（2回） ・東京都・板橋区 医工連携交流会 in 東京都健康長寿医療センター（令和元年度第10回クラスター研究会）への医工連携コーディネーター2名の派遣（1月） ・東京都地方独立行政法人コンプライアンス等連絡会（2月）
(国研)産業技術総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（25回） ・連携技術相談（1件） ・共同技術支援プロジェクト企業訪問24回 ・「1都3県1市における次世代自動車産業分野の連携支援計画/経産省」の継続 ・産総研戦略的都市鉱山研究拠点（SURE）コンソーシアムへの参加の継続 ・「第15回臨海地区産学官連携フォーラム」を共催（5月：アジアスタートアップオフィス MONO） ・TIRI クロスミーティング2019で1件研究発表（7月） ・都産技研講習会に産総研からの講師派遣（7月） ・墨田支所見学会を実施（7月、5名） ・テクノブリッジフェア in さいたまに企業推薦し、参加（8月：ラフレさいたま） ・「第16回臨海地区産学官連携フォーラム」を共催（10月：都産技研） ・産総研 IoT 人材育成研修を活用した職員研修（20名）（10月、11月） ・共同技術支援プロジェクト「東京ベイイノベーションフォーラム」を共催（IoT/AI 施設見学7社15名、昼食懇談会6社11名、技術相談会3社4名、11月：都産技研） ・栃木県足利工業高校本部見学会を実施（産総研からの依頼）（11月、44名） ・AI 人材育成「AI 道場」（9名）（12月） ・都産技研職員が産総研臨海副都心センターを見学（2月、10名） ・産総研臨海副都心センターとの間で東京オリンピック・パラリンピック開催期間中における対応について意見交換（2月） ・連携協議会を実施（2月）
(国研)日本原子力研究開発機構	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京イノベーション発信交流会2020」技術シーズ発表会で1件発表（1月）
泰日工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・泰日工業大学生（インターンシップ）墨田支所見学会を実施（4月、2名） ・連携会議（7月） ・泰日工業大学ラボツアーの開催（10月、13名）
(公財)東京都農林水産振興財団	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（6回） ・多摩テクノプラザ見学会を実施（4月、2名） ・TIRI クロスミーティング2019で1件研究発表（7月）
(一社)コラボ産学官	<ul style="list-style-type: none"> ・コラボ産学官ウェブサイトでのリンク先として掲載
(公財)日本発明振興協会	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「イノベーションの継続的実現を目指す」の後援（10月） ・「第45回発明大賞表彰事業」の後援（3月）
(一財)機械振興協会	<ul style="list-style-type: none"> ・TIRI クロスミーティング2019で1件研究発表（7月）

2019年度 年報

機関名	連携事業
(一財)化学研究 評価機構	<ul style="list-style-type: none"> ・TIRI クロスミーティング 2019 で1件研究発表 (7月) ・「2019年度 JCII 標準化調査研究成果発表会」を後援 (8月:東京、9月:大阪) ・JCII・TIRI 連携推進会議 (12月) ・「東京イノベーション発信交流会 2020」技術シーズ発表会で1件発表 (1月)
(一社)首都圏産 業活性化協会	<ul style="list-style-type: none"> ・「1都3県1市における次世代自動車産業分野の連携支援計画/経産省」の継続 ・「はむらイブニングサロン」での都産技研職員の講演 (5月)
(一社)組込み システム技術協会	<ul style="list-style-type: none"> ・組込みシステムセキュリティ委員会委員2名派遣 ・IoT 高度化委員会ワーキンググループとの意見交換会 (4回) ・技術研究会 TIRI 情報セキュリティ研究会の開催協力 (9回) ・都産技研と組込みシステム技術協会の連携セミナー「中小企業のためのサイバーセキュリティ入門」を共催 (10月、34名参加) ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦 (10月) ・「Embedded Technology 2018/IoT Technology 2019」を協賛、出展 (11月) ・「第16回日本プラグフェスト」を後援 (11月)
東京都商工会 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都商工会連合会第58回通常総会参加 (5月) ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦 (10月) ・小平商工会本部見学会を実施 (10月、40名参加)
東京商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・「産学公連携相談窓口」事業の継続、連携技術相談 (19件) ・連携会議 (2月) ・東京商工会議所葛飾支部評議員会へ出席 (9回) ・東京商工会議所大田支部役員会・評議会に出席 (2回) ・「東京イノベーション発信交流会 2020」への出展企業推薦 (10月) ・「第6回町工場見本市 2020」に出展 (2月:東京国際フォーラム)
青梅商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京イノベーション発信交流会 2020」のウェブサイト掲載によるPR協力 (1月)
(一社)東京工業 団体連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・「依頼試験等助成事業」の継続 ・東京工業団体連合会のウェブサイトでの TIRI クロスミーティング 2019 のPR (5月)
タイ工業省	<ul style="list-style-type: none"> ・日タイ企業交流会を後援 (11月)
泰日経済技術振 興協会	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研理事長が表敬訪問 (2月)
東京都中小企業 団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都中小企業団体中央会のウェブサイトでの TIRI クロスミーティング 2019 のPR (5月)
(一社)東京都中 小企業診断士協 会	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議 (2回) ・本部見学会を実施 (9月、31名)
職業能力開発大学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・TIRI クロスミーティング 2019 で1件研究発表 (7月)
(一財)日本規格 協会	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議 (2回)
(一社)東京都信 用金庫協会	<ul style="list-style-type: none"> ・本部見学会を実施 (5月、6名)
八王子商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスお助け隊多摩テクノプラザ見学会を実施 (12月)
(一社)東京臨海 副都心まちづくり 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議 (IoT 開発セクター東京都 IoT 研究会観光ワーキンググループとの間で臨海副都心地域でのIoT技術の適用について意見交換) (5月、8月) ・産総研・アジアスタートアップオフィス MONO 共催「第15回臨海地区産学官連携フォーラム」のPR協力 (5月) ・サイエンスアゴラへの参加「IoT テストベットの紹介」(67名)、「プログラミング体験教室」(9組15名) (11月)
(国研)科学技術 振興機構	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり技術 新技術説明会で技術シーズ1件の紹介 (5月) ・サイエンスアゴラへの参加「IoT テストベットの紹介」(67名)、「プログラミング体験教室」(9組15名) (11月)

4.2.5 首都圏公設試験研究機関との連携

2002年度、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県が連携し、都域の枠にとらわれず、域内中小企業の技術支援を行うために、首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）を設立した。2008年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。また、公設試では2011年度より長野県、2013年度より栃木県、群馬県、山梨県、山梨県富士工業技術センター、さらに2014年度には茨城県、静岡県、2015年度には新潟県がオブザーバー機関として参加している。

連携5機関：都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、横浜市工業技術支援センター

オブザーバー機関：関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、国立研究開発法人産業技術総合研究所、茨城県産業技術イノベーションセンター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県産業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所

TKFではウェブサイト「首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ」の運営や、「IT・情報」、「高分子材料」、「デザイン」、「バイオ技術」、「ロボット技術」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動、研究員の相互派遣活動（TKF ミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

(1) 首都圏公設試連携推進会議

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。2018年度からは広域首都圏輸出製品技術支援センター事務局会議および運営委員会も兼ねた会議を開催している。また、年に一度TKF事業の成果発表の場としてTKFフォーラムを開催し、連携の充実を図ってきた。2015年度からはTKFフォーラムを一般公開し（TKF オープンフォーラム）、中小企業に対する情報提供の場、交流の場としている。

No.	開催日	開催場所	参加機関	出席者数
1	7月4日※	都産技研	連携5機関、オブザーバー機関、一般参加者	185名
2	10月25日	東葛テクノプラザ (千葉県)	連携5機関、オブザーバー機関	49名
3	3月12日	書面会議	連携5機関、オブザーバー機関	—

※TKF オープンフォーラムとして開催した。

(2) 他機関での発表

他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表実績は以下のとおりである。また、産学連携による研究成果の実用化を目指した国立研究開発法人科学技術振興機構が主催する「新技術説明会」に、公設試験研究機関として2018年度から参加している。2019年も「ものづくり技術 新技術説明会」として、都産技研、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、栃木県産業技術センター、

群馬県産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県産業技術センター、静岡県工業技術研究所の合計7機関が参加した。

No.	開催日	発表タイトル	発表者	主催機関	大会等の名称
1	5月23日	プリント技術を用いてゴム材料をパターン配置したCFRPの開発	武田浩司	科学技術振興機構、都産技研、他6機関	ものづくり技術新技術説明会
2	7月26日	止まり穴を有するクロムめっき品に対応した簡易抽出法の提案	安藤理恵	千葉県産業支援技術研究所	2019年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会
3	7月26日	天然繊維の有機導電加工法の開発とウェアラブル製品への展開	添田 心	千葉県産業支援技術研究所	2019年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会
4	9月26日	トポロジー最適化を利用したキッチンカーの開発	上野明也	埼玉県産業技術総合センター	SAITEC 令和元年度オープンラボ
5	10月30日	大型ロボットベース「トーラス」の開発と警備ロボット「ペルセウスボット」への応用	益田俊樹	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	KISTEC Innovation Hub 2019 in Ebina
6	10月31日	耐剥がれ性に優れるDLC被膜の開発と転がり軸受への適用	徳田祐樹	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	KISTEC Innovation Hub 2019 in Ebina
7	11月 1日	炭素繊維と接触した金属の初期腐食挙動	杉森博和	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	KISTEC Innovation Hub 2019 in Ebina
8	11月 1日	電子不足ホウ素とアセン類を組み合わせた新規有機電子材料の開発	三柴健太郎	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	KISTEC Innovation Hub 2019 in Ebina

4.2.6 公益財団法人東京都中小企業振興公社等との連携

(1) 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、2006年、公益財団法人東京都中小企業振興公社と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMAでは、「産業サポートスクエア・TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

種別	連携事業
講座・セミナー・フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回東京都デザイン導入支援セミナー「『デザイン経営』宣言を読み解く。知財戦略の重要性を学ぶ。」に協力 (5月：都産技研本部/参加者69名) ・生産性向上のための中核人材育成事業「東京都標準化活用スクール」「技能・技術標準化による技能伝承セミナー」への協力(10月、本部およびIoTサイト見学会を実施13名、協力名義) ・特許情報調査セミナー in 多摩への協力(3回シリーズ、基礎総合編、キーワード検索編、分類検索編)(12月：多摩テクノプラザ) ・公社主催「生産性向上のためのIoT、AIの導入支援事業 第2回合同研究会」を後援、および都産技研事業紹介、個別相談会への協力(2月：アキバプラザ) ・バンコクにおいて共催セミナー「異業種交流会(T-Cafe)」を共催(4回)

種別	連携事業
交流会・マッチング会	<ul style="list-style-type: none"> ・「TIRI クロスミーティング 2019」(7月)、「東京イノベーション発信交流会 2020」(1月)にて、公社助成事業説明を実施 ・第1回コラボマッチング相談ブース対応(9月:AP 秋葉原) ・「新技術創出交流会」に出展(9月、パレスホテル立川) ・東京きらぼしフィナンシャルグループ・公社・川崎市等主催「ICT 知的財産マッチング会」(7月:きらぼし銀行本社)都産技研シーズ紹介(4件)、個別相談対応 ・「東京イノベーション発信交流会 2020」(1月)公社より出展企業2社推薦および公社コーディネーター、ビジネスナビゲーターなどがマッチングに協力 ・第2回コラボマッチング相談ブース対応(2月:AP 秋葉原) ・公社主催「知的財産マッチング会」(1月:八王子市学園都市センター)にて、都産技研シーズ紹介(5件) ・東京都異業種交流グループ 2019 年度グループ第7回交流会での公社助成事業説明(1月) ・公社異業種交流グループと都産技研異業種交流グループとの合同定例会(1月)
連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「1都3県1市における次世代自動車産業分野の連携支援計画/経産省」の継続 ・「事業化チャレンジ道場」事業に協力し、溶融積層造形装置による試作品造形に関するオーダーメイド開発支援を実施(7件) ・「東京手仕事」プロジェクトへ商品開発アドバイザーを派遣し、伝統工芸品の商品開発を支援 ・連携技術相談(4件)
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・公社新入職員城東支所見学会を実施(9月、16名) ・公社国際事業課本部見学会を実施(9月、職員、海外販路ナビゲータ等25名参加) ・その他、7件18名の公社職員を対象とした施設見学会実施
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研メールニュースおよびMTEP メールニュースに公社事業の記事を合計38件掲載 ・TIRI NEWS に公社事業の記事を1回掲載 ・公社メールマガジンに都産技研事業の記事を14回掲載 ・公社技術情報誌アーガスに技術解説の連載記事を4回掲載 ・公社本社および広域多摩イノベーションプラットフォーム(IPF)のメール配信および公社ウェブサイトへの掲載による「東京イノベーション発信交流会 2020」のPR協力 ・産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー(施設公開)の共同開催(10月) ・「都産技研・東京都中小企業公社活用事例集」の公社ウェブサイト掲載、所内配架、東京イノベーション発信交流会 2020 での展示によるPR

※表中の「公社」は、公益財団法人東京都中小企業振興公社を指す。

(2) 医療機器産業参入支援

2017年度から東京都の委託を受けて、ものづくり中小企業の医療機器開発・事業化を技術面から支援する、「医工連携コーディネーター事業」を推進している。本事業では、都産技研、東京都医工連携 HUB 機構、公益財団法人東京都中小企業振興公社の3機関が協力し、各機関の特徴を活かした支援体制を整えている。都産技研では、臨床・研究機関、製販企業などの関連機関からのシーズやニーズを、ものづくり中小企業に展開していくことで、ビジネスマッチングを支援している。2019年度の主な事業は、以下のとおり。

1) マッチング事業

- ・都産技研医工連携コーディネーターを7名に委嘱した。
- ・一般展示会19件、本郷展示会*4件、医学系学会4件に向けて、医工連携コーディネーターを派遣して、情報交換を行った。年間延べ1,178件の、企業・機関などとの情報交換を行った。このうち、個別面談まで進展したのは、23社、延べ39件。

(※本郷展示会：本郷地区の医療系企業とのマッチングに特化した展示会)

- ・歯科医療系大学から提案された新規歯科材料について、都内中小企業とのマッチング

を図り、NDA を締結した。今回、商品化には至らなかったが、新たな協力体制が構築された。

- ・画像解析分野の開発案件について、新たな助成金獲得に向けた準備を開始した。

2) 情報収集

- ・TIRI クロスミーティング 2019 から、本事業用に都産技研のシーズ 20 件を抽出した。
- ・医工連携コーディネーターを各種セミナーに派遣し、セミナー参加者へのコンタクトを実施した。

3) 情報提供

- ・都産技研主催医工連携セミナーを秋葉原コンベンションホールにて2回開催した。
 - 第1回「医療を変える医工連携」(9月5日：受講者数68名：秋葉原)
 - 第2回「経験から学ぶ医工連携」(2月14日：受講者数102名：秋葉原)
- ・広報活動
 - 産業交流展 2019 および東京イノベーション発信交流会 2020 などリーフレットの配布、パネル展示による事業紹介を実施した。



(医工連携事業スキーム)

4.2.7 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望などの議題で開催されている。産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表などの活動が行われている。

2019年度の参加実績および各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果発表などを行った実績は以下のとおりである。

(1) 参加実績

No.	開催日	会議名	開催場所
1	5月30～31日	製造プロセス部会 第26回表面技術分科会	米子コンベンションセンター
2	6月 5～ 6日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会総会	富士Calm
3	6月 5日	第15回地域交流ワークショップ 「地域の課題への挑戦」	広島国際会議場
4	7月 9～10日	ライフサイエンス部会 第25回デザイン分科会	(公財)三重北勢地域地場産業振興センター、パラミタミュージアム、おやつタウン
5	7月25日	製造プロセス部会 第3回 IoT ものづくり分科会	都産技研本部
6	9月19～20日	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス分科会第66回総会	山ログランドホテル
7	9月26～27日	製造プロセス部会 第27回塗装工学分科会	(地独)岩手県工業技術センター
8	10月 1～ 3日	ライフサイエンス部会医療福祉技術分科会 第21回医療福祉技術シンポジウム、 第4回人間生活工学研究会	秋田カレッジプラザ、 秋田県産業技術センター
9	10月 4日	製造プロセス部会表面技術分科会DLC技術研究会 公設試の地域オープンイノベーション力強化事業 「DLC膜のISO20523:2017規定分類のための評価法の検討(Ⅱ)」第1回研修会・検討会	(国研)産業技術総合研究所 関西センター
10	10月10～11日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 令和元年度繊維技術研究会	石川県工業試験場
11	10月17～18日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第13回音・振動研究会	(地独)鳥取県産業技術センター
12	11月 7～ 8日	ナノテクノロジー・材料部会 第13回木質科学分科会	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所
13	11月 7～ 8日	製造プロセス部会 第11回3Dものづくり特別分科会	あいち産業科学技術総合センター
14	11月 8日	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産・測定技術研究会	伝国の杜
15	11月11～12日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 “情報通信研究会 in さっぽろ”	北海道道民活動センター、 (地独)北海道立総合研究機構産業技術研究本部工業試験場
16	11月14～15日	ナノテクノロジー・材料部会 第57回高分子分科会	阿波観光ホテル
17	11月14～15日	情報通信・エレクトロニクス部会情報技術分科会 第17回組込み技術研究会	長崎県庁、 長崎県立大学シーボルト校
18	11月14～15日	ナノテクノロジー・材料部会 第13回ガラス材料技術分科会総会・研修会	(国研)産業技術総合研究所 関西センター
19	11月14～15日	ライフサイエンス部会 第26回デザイン分科会	都産技研本部
20	11月21～22日	情報通信・エレクトロニクス部会 第15回電子技術分科会並びに第20回高機能材料・ デバイス研究会及び第20回実装・信頼性技術研究会	サンメッセ鳥栖、 (公財)佐賀県地域産業支援センター九州シンクロトン光研究センター
21	11月21～22日	ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第54回セラミックス技術担当者会議	(国研)産業技術総合研究所 中部センター
22	12月 5～ 6日	令和元年度知的基盤部会 総会及び計測分科会 (形状計測研究会)	北九州国際会議場
23	12月 5～ 6日	令和元年度知的基盤部会 総会及び計測分科会 (光放射計測研究会)	北九州国際会議場

2019年度 年報

No.	開催日	会議名	開催場所
24	12月12日	令和元年度知的基盤部会 総会及び計測分科会・分析分科会	(公財)神奈川県産業振興センター
25	1月28日	環境・エネルギー部会 分科会・研究会合同総会	都産技研本部
26	1月31日	知的基盤部会 電磁環境分科会 第17回関東甲信越静EMC研究交流会および MTEP EMCパートナーグループ会	(国研)産業技術総合研究所 つくば中央
27	2月26日	公設試のオープンイノベーション力強化事業 「DLC膜のISO20523:2017 規定分類のための評価 法の検討(Ⅱ)」第2回検討会・研修会	都産技研本部

(2) 発表実績

No.	開催日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
1	5月31日	バレル用クエン酸ニッケルめっき 浴における金属不純物の影響	桑原聡士	米子コンベンション センター	2019年度産業技術連携推 進会議製造プロセス部会 第26回表面技術分科会
2	6月5日	ナノテクノロジー・材料部会 織 維分科会の事業報告と事業計画に ついて	樋口明久	富士Calm	ナノテクノロジー・材料 部会 繊維分科会総会
3	6月5日	産業用ロボットによる器用な耐久 試験の事例紹介	森田裕介	広島国際会議場	第15回地域交流ワーク ショップ「地域の課題へ の挑戦」
4	7月9日	オーダーメイド開発支援による自 社製品「醤油さし」の開発	上野明也	(公財)三重北勢地域 地場産業振興セン ター、パラミタ ミュージアム、おや つタウン	ライフサイエンス部会 第25回デザイン分科会
5	7月25日	都産技研「中小企業のIoT化支援 事業公募型共同研究成果」と支援 事例紹介	中川善継	都産技研本部 IoT支援サイト	製造プロセス部会 第3回 IoT ものづくり分 科会
6	9月19日	各機関の現状報として東京都立産 業技術研究センターについて報告	樋口智寛	山口グランドホテル	ナノテクノロジー・材料 部会セラミックス分科会 第66回総会
7	9月26日	誘起蛍光法を用いた流体の可視化 技術	石田祐也	(地独)岩手県工業技 術センター	製造プロセス部会 第27回塗装工学分科会
8	10月1日	筋電センサと加速度センサを用い た動作識別の検討	志水 匠	秋田カレッジプラザ	ライフサイエンス部会医 療福祉技術分科会 第21回医療福祉技術シン ポジウム、 第4回人間生活工学研究会
9	10月1日	腱振動刺激による運動錯覚を用い た新規の運動学習・再学習装置の 開発に向けた基礎的検討	大島浩幸	秋田カレッジプラザ	ライフサイエンス部会医 療福祉技術分科会 第21回医療福祉技術シン ポジウム、 第4回人間生活工学研究会
10	10月4日	分光エリプソメトリーを用いた研 究開発事例の紹介	磯田和貴	(国研)産業技術総合 研究所関西センター	製造プロセス部会表面技 術分科会DLC技術研究会 公設試の地域オープンイ ノベーション力強化事業 「DLC膜のISO20523:2017 規定分類のための評価法 の検討(Ⅱ)」第1回研修 会・検討会

No.	開催日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
11	10月4日	分光エリプソメータを用いた技術支援状況	海老澤瑞枝	(国研)産業技術総合研究所関西センター	製造プロセス部会表面技術分科会DLC技術研究会 公設試の地域オープンイノベーション力強化事業「DLC膜のISO20523:2017規定分類のための評価法の検討(Ⅱ)」第1回研修会・検討会
12	10月10日	吸水性試験の精度向上に向けた標準布の提案	添田 心	石川県工業試験場	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 令和元年 繊維技術研究会
13	10月17日	低流量・高揚程の送液を可能とする多孔質羽根車の研究事例	小西 毅	(地独)鳥取県産業技術センター	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第13回音・振動研究会
14	10月17日	持ち回り試験片による損失係数の差異要因に関する検討	渡辺茂幸	(地独)鳥取県産業技術センター	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第13回音・振動研究会
15	11月7日	都産技研「3Dものづくり」事業のPR実践とその効果について	横山幸雄	あいち産業科学技術総合センター	製造プロセス部会 第11回3Dものづくり特別分科会
16	11月8日	吸水性試験「表面吸水法(改良ラローズ法)」の精度管理について	添田 心	伝国の杜	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産・測定技術研究会
17	11月11日	IoT化支援事業におけるMZ Platformを活用した取り組みとIoT通信機器の評価事例の紹介	中川善継	北海道立道民活動センター	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 “情報通信研究会 in さっぽろ”
18	11月11日	「東京都IoT研究会 農業ワーキンググループ」の活動内容紹介	仲村将司	北海道立道民活動センター	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 “情報通信研究会 in さっぽろ”
19	11月14日	下水道管渠更生工法材料の強度試験-2016年からの進捗-	安田 健	阿波観光ホテル	ナノテクノロジー・材料部会 第57回高分子分科会
20	11月14日	熱強化ガラスの薄型化にともなう破損事故について	上部隆男	(国研)産業技術総合研究所関西センター	ナノテクノロジー・材料部会 第13回ガラス材料技術分科会総会・研修会
21	11月14日	陶磁器の上絵付に使用される有機物について	樋口智寛	(国研)産業技術総合研究所関西センター	ナノテクノロジー・材料部会 第13回ガラス材料技術分科会総会・研修会
22	11月14日	推定値の信頼度を考慮したソフトセンサの開発	鈴木 聡	長崎県庁、長崎県立大学シーボルト校	情報通信・エレクトロニクス部会情報技術分科会 第17回組込み技術研究会
23	11月15日	避難所用ベッドの設計要件抽出	福原悠太	都産技研本部	ライフサイエンス部会 第26回デザイン分科会
24	11月21日	微細細胞片のハンドリング技術の開発	山岡英彦	サンメッセ鳥栖	情報通信・エレクトロニクス部会 第15回電子技術分科会並びに第20回高機能材料・デバイス研究会及び第20回実装・信頼性技術研究会

2019年度 年報

No.	開催日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
25	11月21日	セラミックス製ガス電子増幅器の開発	小宮一毅	サンメッセ鳥栖	情報通信・エレクトロニクス部会 第15回電子技術分科会並びに第20回高機能材料・デバイス研究会及び第20回実装・信頼性技術研究会
26	11月21日	フレキシブル基板上へのマイクロレンズアレイ製造方法の開発	宮下惟人	サンメッセ鳥栖	情報通信・エレクトロニクス部会 第15回電子技術分科会並びに第20回高機能材料・デバイス研究会及び第20回実装・信頼性技術研究会
27	11月21日	モルフォ蝶の積層立体構造発色の製造方法の開発	伊達修一	サンメッセ鳥栖	情報通信・エレクトロニクス部会 第15回電子技術分科会並びに第20回高機能材料・デバイス研究会及び第20回実装・信頼性技術研究会
28	11月21日	大気中熱処理による任意の内部応力分布をもつ化学強化ガラス作製の検討	宮宅ゆみ子	(国研)産業技術総合研究所中部センター	ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会第54回セラミックス技術担当者会議
29	12月 5日	現場環境における三次元測定機の高度化 -レーザ干渉測長器と温度計を用いた温度補正の評価-	大西 徹	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(形状計測研究会)
30	12月 5日	座標測定機により測定された幾何偏差の信頼性検証	三浦由佳	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(形状計測研究会)
31	12月 5日	三次元測定機における持ち回り測定の報告	樋口英一	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(形状計測研究会)
32	12月 5日	都産技研におけるプラズマ診断の試み -発光分光計測を中心に-	山下雄也	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(光放射計測研究会)
33	12月 5日	ハイパースペクトルカメラを用いた青色光網膜傷害のリスク判定	秋葉拓也	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(光放射計測研究会)
34	12月 5日	都産技研・光学特性計測分野の技術支援と研究事例の紹介	磯田和貴	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(光放射計測研究会)
35	12月 5日	MESHを使った照度時間変化のリアルタイムモニタリング	横田浩之	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(光放射計測研究会)
36	12月 5日	公設試間巡回試験結果報告	澁谷孝幸	北九州国際会議場	令和元年知的基盤部会総会及び計測分科会(光放射計測研究会)
37	1月28日	都が推進する中小企業のIoT化支援と事例のご紹介	中川善継	都産技研本部	環境・エネルギー部会・分科会・研究会合同総会
38	1月31日	放射エミッションの日常点検方法共有化の提案	小畑 輝	(国研)産業技術総合研究所つくば中央	知的基盤部会 電磁環境分科会第17回関東甲信越静EMC研究交流会およびMTEP EMCパートナーグループ会

4.2.8 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに活かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。2019 年度に実施した事業は以下のとおりである。

No.	開催日	連携学協会	連携事業
1	4月25日	(一社)日本繊維機械学会 関東支部	繊維系研究機関ミニ国際シンポジウム 2019
2	5月10日	(一社)国際工業塗装高度化推進会議	IPCO カンファレンス 2019
3	6月20日	木材塗装研究会 (色材協会・木材加工技術協会)	第 31 回木材塗装基礎講座
4	6月28日	(一社)日本塑性加工学会	第 333 回塑性加工シンポジウム 「高度化する金型表面処理技術の最前線」
5	7月19日	細胞工学シート研究会	第 1 回細胞シート工学イノベーションフォーラム～細胞シートの未来を語ろう！～
6	7月23日	トライボロジー学会	機能性コーティングの最適設計技術研究会 第 12 期 第 1 回 (通算第 16 回) 機能性コーティングの最適設計技術研究会
7	9月13日	(一社)プラスチック成形加工学会	第 169 回講演会 「フィルム成形技術を理解する」
8	9月27日	(一社)粉体粉末冶金協会	粉末積層 3D 造形技術委員会・粉末製造技術委員会合同委員会「金属 3D プリンターの原料粉末と造形の技術トピックス」
9	10月14～19日	(一社)産業環境管理協会	国際標準化機構の水質 (ISO/TC147) 国際会議
10	10月18日	機能性フィルム研究会	マイクロプラスチック問題に関するシンポジウム
11	10月24～25日	(一社)色材協会	2019 年度色材研究発表会 「色材関連技術の最新動向」
12	11月15日	(一社)日本エネルギー学会	第 15 回微粒化セミナー
13	11月19日	マテリアルライフ学会	マテリアルライフ学会 表面－界面物性研究会 2019 秋季講演会
14	12月 2日	(一社)電気学会	都産技研・電気学会セミナー 「安全で省エネな社会の構築と中小企業支援」
15	12月 3日	(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会	表面技術とものづくり研究部会 第 27 回例会
16	12月 6日	制振工学研究会	制振工学研究会 2019 技術交流会
17	12月25日	(特非)パルテノン研究会	ハードウェア設計自動化技術に関する研究発表会
18	1月22日	日本食品照射研究協議会	第 55 回 日本食品照射研究協議会 教育講演会/ 低エネルギー電子線を用いた食品処理技術の動向に関するセミナー
19	1月24日	(特非)FPGA コンソーシアム	東京 FPGA カンファレンス 2020with プログラマブルデバイスプラザ
20	1月28～29日	(一社)日本非破壊検査協会	第 27 回超音波による非破壊評価シンポジウム
21	2月13～14日	(一社)日本非破壊検査協会	第 12 回放射線による非破壊評価シンポジウム